テレホールディングス

GEAR UP, GO GLOBAL

2026年度第2四半期 決算説明資料

2026年11月5日

本資料に記載されている当社グループの将来の業績に関する見通しほか全ての内容は、本資料作成時点の当社の判断に基づくものです。将来についてはリスクや不確実性を含むもので、計画の数値や施策の実現を確約したものではありません。今後の経済情勢、市場動向、経営環境、日本政府の政策などの変化により、記載事項と大きく異なる可能性があることにご留意下さい。
また、本資料の無断転載はお断りします。

Contents

成長投資の加速と株主還元の充実

決算概況

コンテンツ戦略

編成戦略・デジタル・配信

戦略的投資

補足資料

成長投資の具体化・加速

- 海外の流通機能や販売機能に対する投資も検討、成長投資を加速します
- コンテンツビジネスの収益多様化、人的資本等への投資を含む成長基盤への投資も推進します

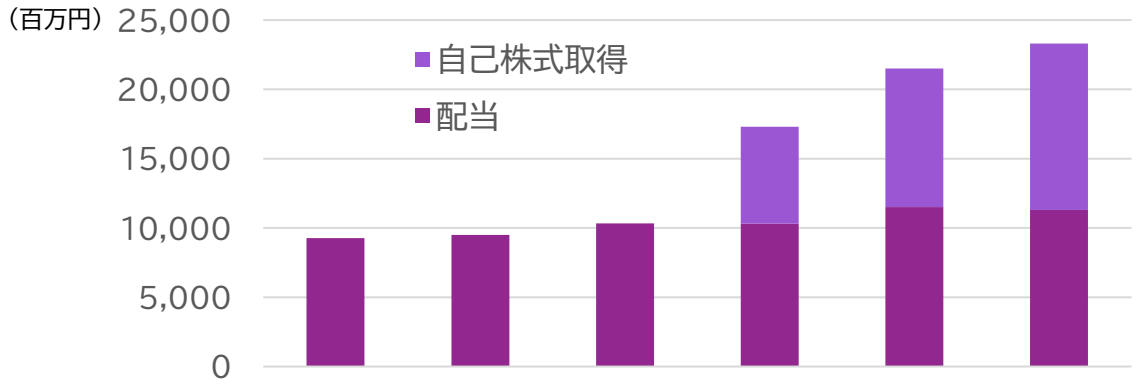
成長投資の3つの重点領域

① コンテンツビジネスの海外市場展開	② コンテンツビジネスの収益の多様化	③人的資本投資・設備投資・研究開発投資等
ドラマ制作基盤の強化 ・海外制作会社・VFX事業者への出資・買収 ・受託制作から共同開発・共同製作へ段階シフト	**ID統合・機能獲得** ・グループ各社のID統合・連携、高機能化	人的資本投資 ・グローバルIP創出・展開人材の獲得と育成 ・専門調査報道体制の強化と報道人材の育成
アニメ収益の最大化 ・国内の制作会社および、海外において日本のIPを管理・許諾する事業者等への出資 ・海外窓口権の確保によるIP収益最大化	**リアル×デジタル接点** ・アリーナ／ベニュー事業への参画 ・顧客接点のリアル・デジタル横断的拡大	**設備投資** ・世界水準スタジオ・バーチャル制作環境の整備 ・データ報道・ファクトチェック基盤の構築
バラエティの現地制作 ・現地制作会社と提携・買収 ・フォーマット販売から現地制作の一括受託へ		**研究開発投資** ・AI・DXによる生産性向上と技術人材の育成 ・次世代エンタメ体験・次世代IPの創出と研究

以上の成長施策を含む事業活動における資本効率・収益性を評価・管理するために、ROIC導入に向けた検討を進めていきます
また、ROEやROAをはじめとする主要な経営指標の改善や最適資本構成の実現にも取り組んでいきます

株主還元の充実

- 総還元性向目標を現在の「35%以上」から、「40%以上」へ引き上げます（2027年3月期より）
- 今後も継続的で安定的な配当を目指します
- 自己株式の取得については経営環境や市場の状況に応じて機動的に継続します



年度	2021	2022	2023	2024	2025	2026
1株当たり配当額	37円	37円	40円	40円	45円	45円（予定）
自己株式の取得	–	–	–	70億円*	100億円	120億円

＊2024年度欄に記載の自己株式取得は2024年2月から5月にかけて実施しています

第2四半期までに行った「自己株式の取得」

- 取得価額の総額：119億9,983万5,615円
- 取得した株式の総数：414万600株
  - ➢取得した全株式を消却しました

第2四半期までに行った「政策保有株の縮減」

- 投資有価証券売却益：196億3,700万円　特別利益に計上
- 当該企業の業績、配当、株価など定量的側面を考慮の上、保有の合理性を検証した上で継続的な縮減を進めます

放送事業者としての「公共的使命」について

地上基幹放送事業者は、その公共的な使命と役割を全うするため、放送法などにより、さまざまな義務と経済的な負担を負っています。
放送法108条では、災害放送が義務付けられています。放送法92条では、“あまねく受信努力義務”が課されており、人口の極めて小さい山間部や島嶼地域においても放送設備を設置するなど、ハード・ソフトの両面から、公共的使命と役割を果たすことが求められています。
このため、いかなる有事でも放送を維持するために一定規模の手元資金を継続保有し、突発的な災害時等にも備えます。

認定放送持株会社の所管官庁である総務省は現在、公共性の高い放送事業者の資本政策のあり方について検討しています。当社としましても、その動きをしっかり見極めた上で対応を検討していきます。

Contents

成長投資の加速と株主還元の充実

決算概況

コンテンツ戦略

編成戦略・デジタル・配信

戦略的投資

補足資料

決算概況

増収営業減益　　＊親会社株主に帰属する四半期純利益は増益

- KANAMELを新規連結したことにより連結トータルでは増収

- FIFAワールドカップ2026の放送により、タイム収入は増収
  スポット収入は中東情勢の影響や、前年の反動減もあり減収
  地上波広告収入はトータルで減収

- 番組制作費はワールドカップの影響もあり増加
  日本テレビ放送網が減収減益となり、連結への影響が大きかった

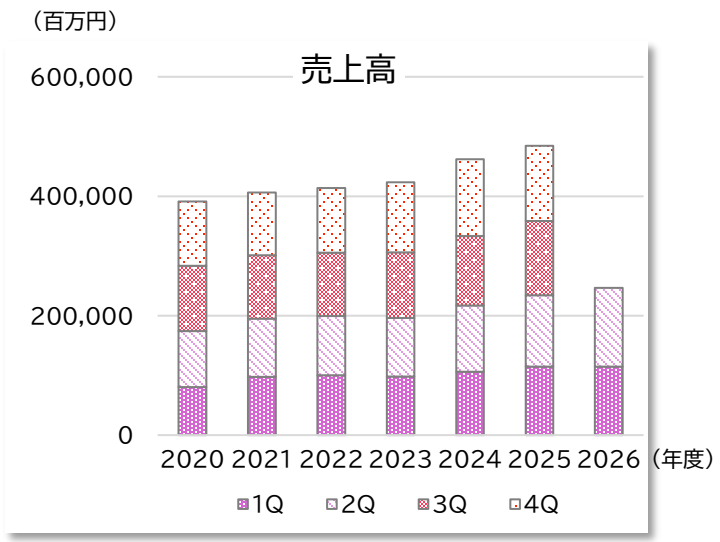
- 日本テレビホールディングス連結子会社のうち6社が過去最高売上

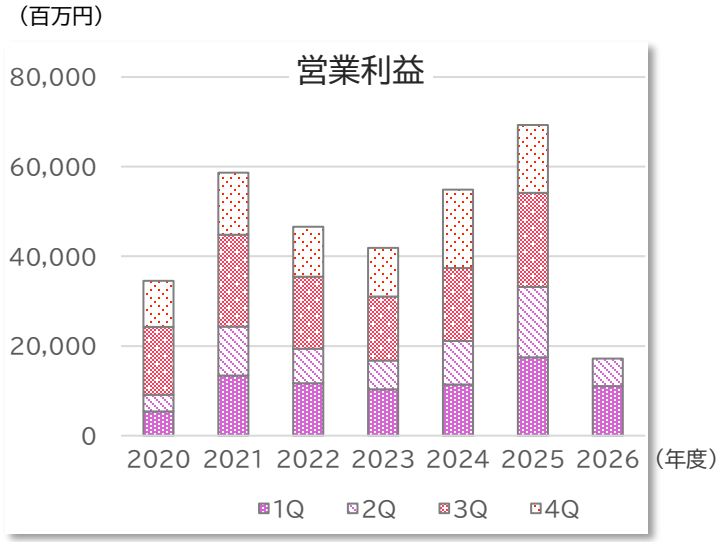
- 特別利益において政策保有株売却に伴う、投資有価証券売却益を計上
  KANAMELを完全子会社化したことに伴う段階取得に係る差益も計上
  これらによって、親会社株主に帰属する四半期純利益は増益

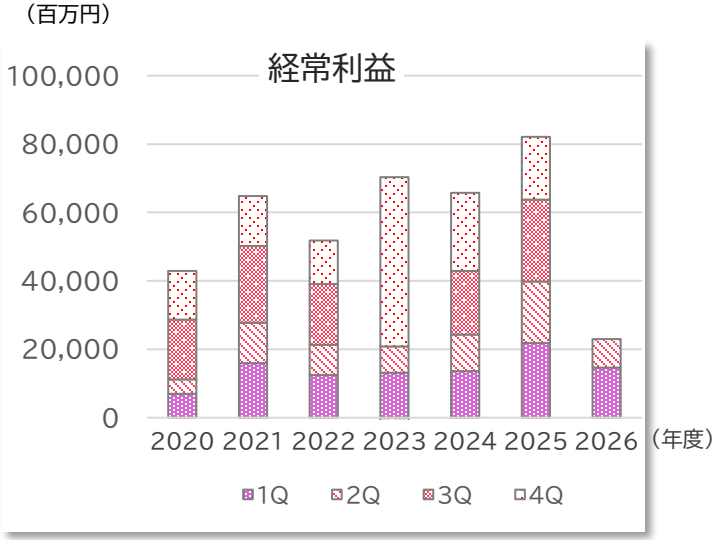
日本テレビホールディングス：連結決算

（単位：百万円）

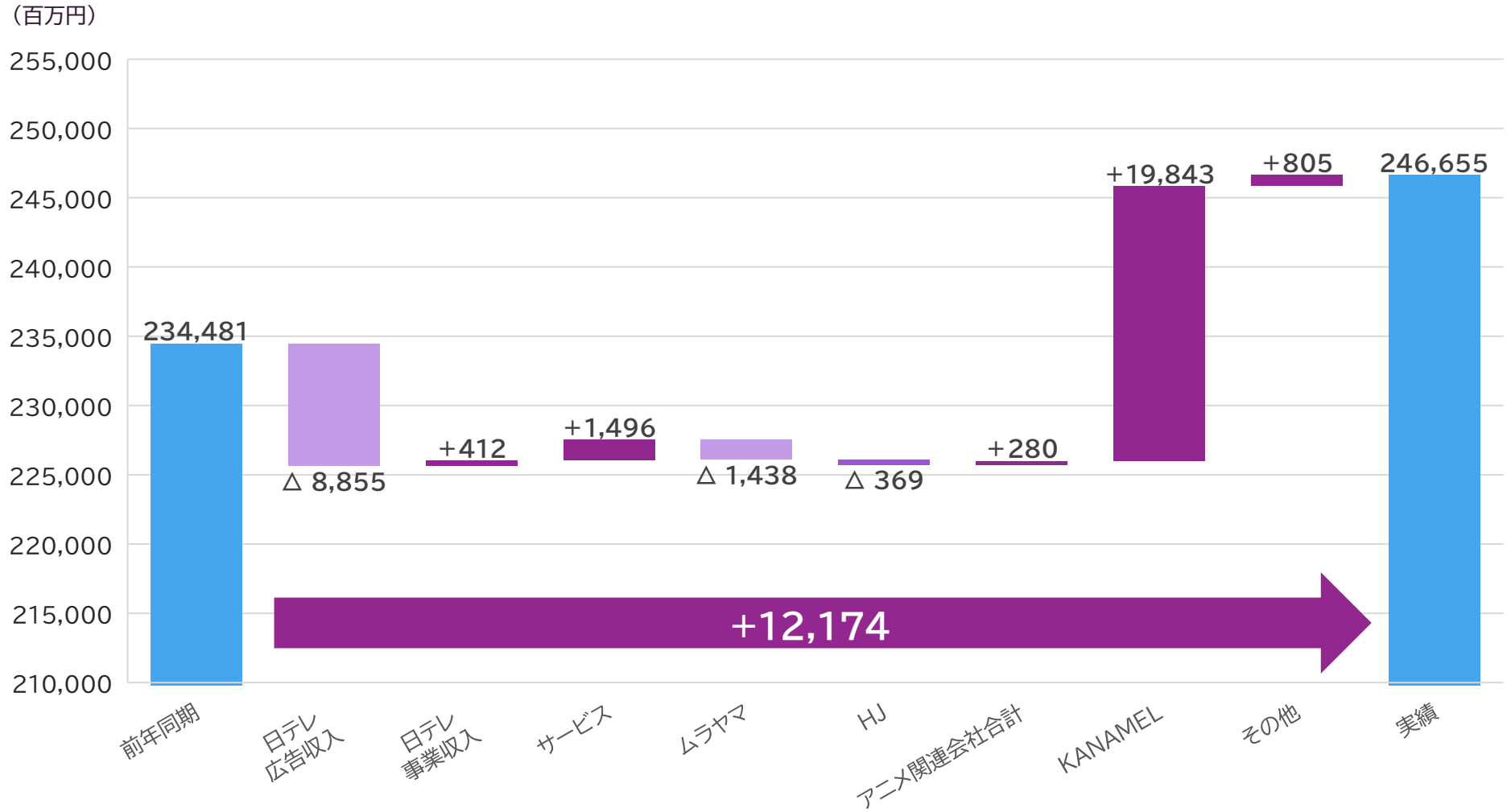
	2025年度 4-9月	2026年度 4-9月	前年差	増減率
売上高	234,481	246,655	12,174	5.2%
営業利益	33,210	17,167	△16,043	△48.3%
経常利益	39,801	22,949	△16,851	△42.3%
親会社株主に帰属する中間純利益	26,398	27,199	800	3.0%



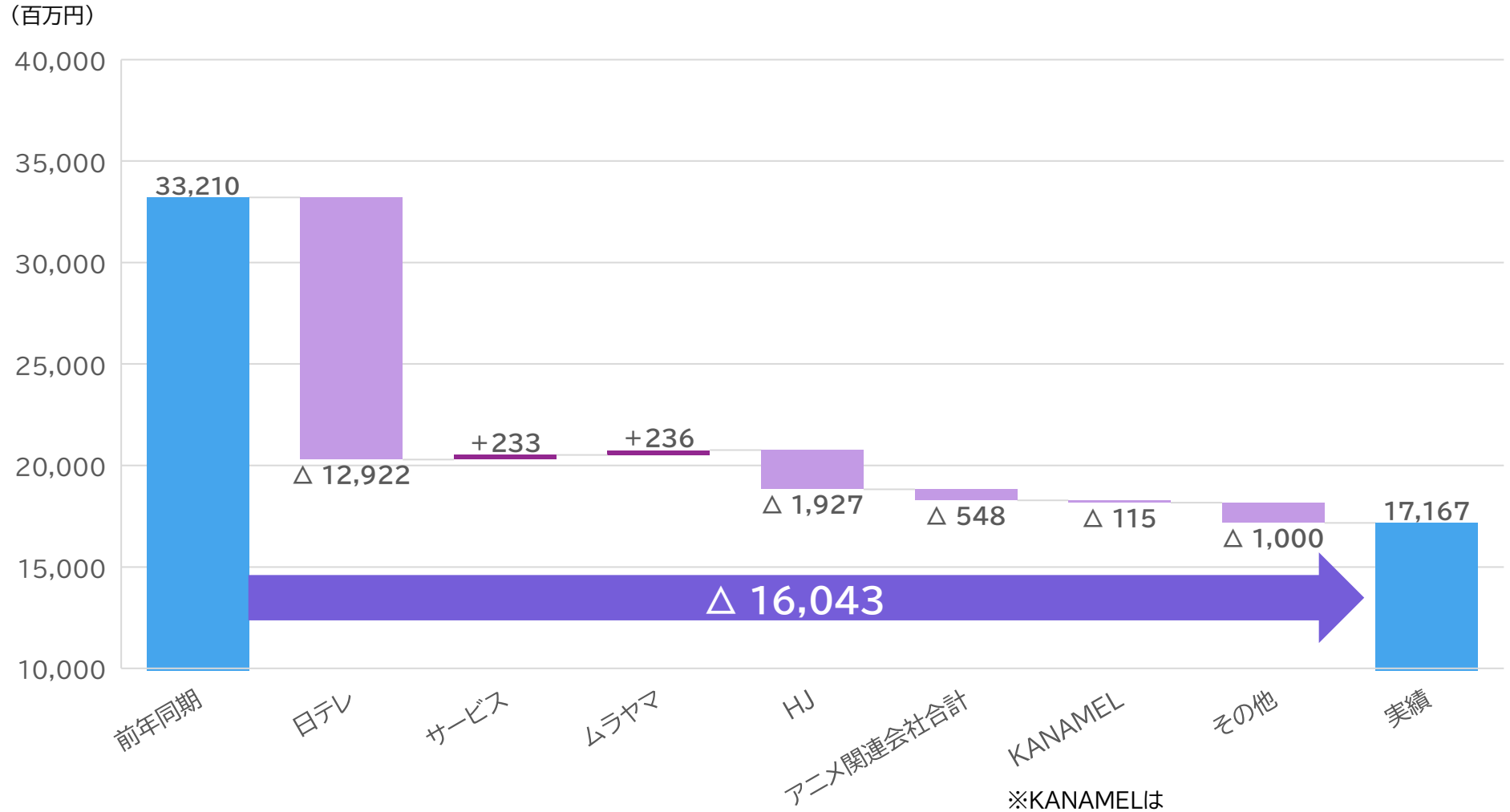




売上高の前年同期増減分析



営業利益の前年同期増減分析



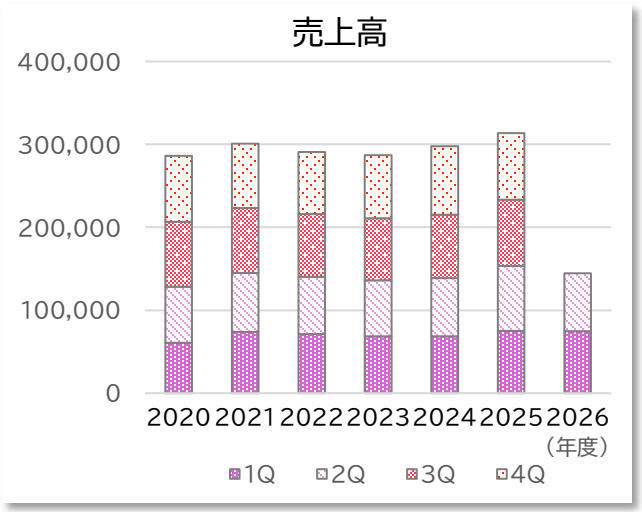
※KANAMELは
のれん償却含む

日本テレビ放送網：決算

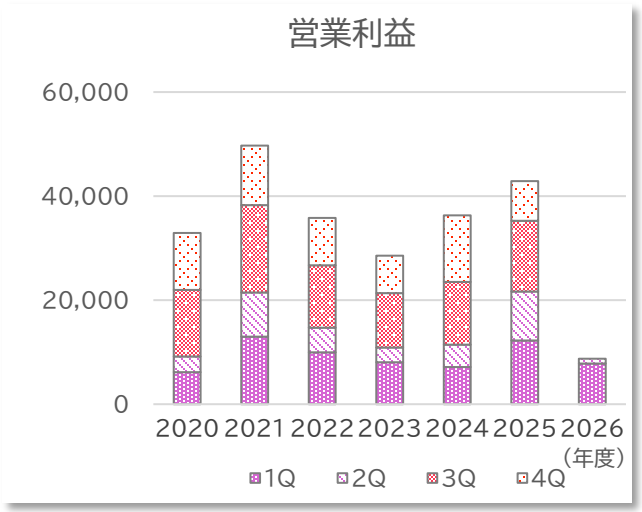
（単位：百万円）

	2025年度 4-9月	2026年度 4-9月	前年差	増減率
売上高	153,552	144,588	△8,964	△5.8%
営業利益	21,658	8,735	△12,922	△59.7%
経常利益	24,791	13,838	△10,952	△44.2%
中間純利益	17,220	22,562	5,342	31.0%

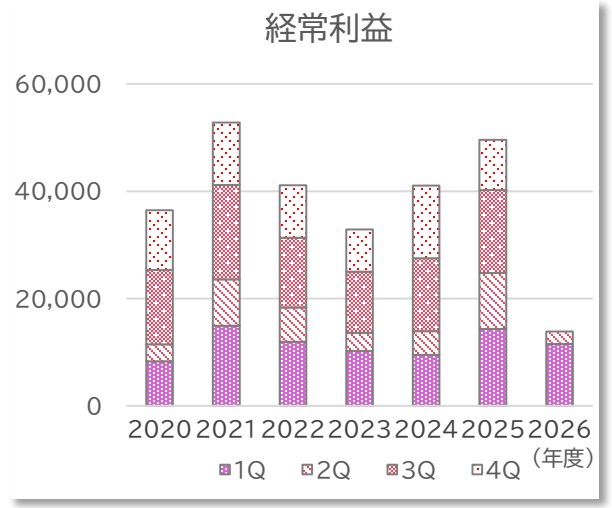
（百万円）



（百万円）



（百万円）



日本テレビ放送網:広告収入状況

（単位:百万円）

	2025年度 4-9月	2026年度 4-9月	前年差	増減率
広告収入	117,403	108,547	△8,855	△7.5%
タイム	49,767	53,211	3,443	6.9%
スポット	62,284	50,886	△11,398	△18.3%
デジタル広告	5,350	4,449	△900	△16.8%

2026年度広告収入 前年同月比

タイム	増減率
4月	0.0%
5月	5.3%
6月	27.1%
7月	7.7%
8月	1.1%
9月	△1.1%

スポット	増減率
4月	△11.1%
5月	△9.9%
6月	△15.8%
7月	△27.3%
8月	△24.4%
9月	△21.3%

デジタル広告	増減率
4月	△12.0%
5月	△7.0%
6月	△15.2%
7月	△15.7%
8月	△26.8%
9月	△22.3%

日本テレビ放送網：営業収支詳細

（単位：百万円）

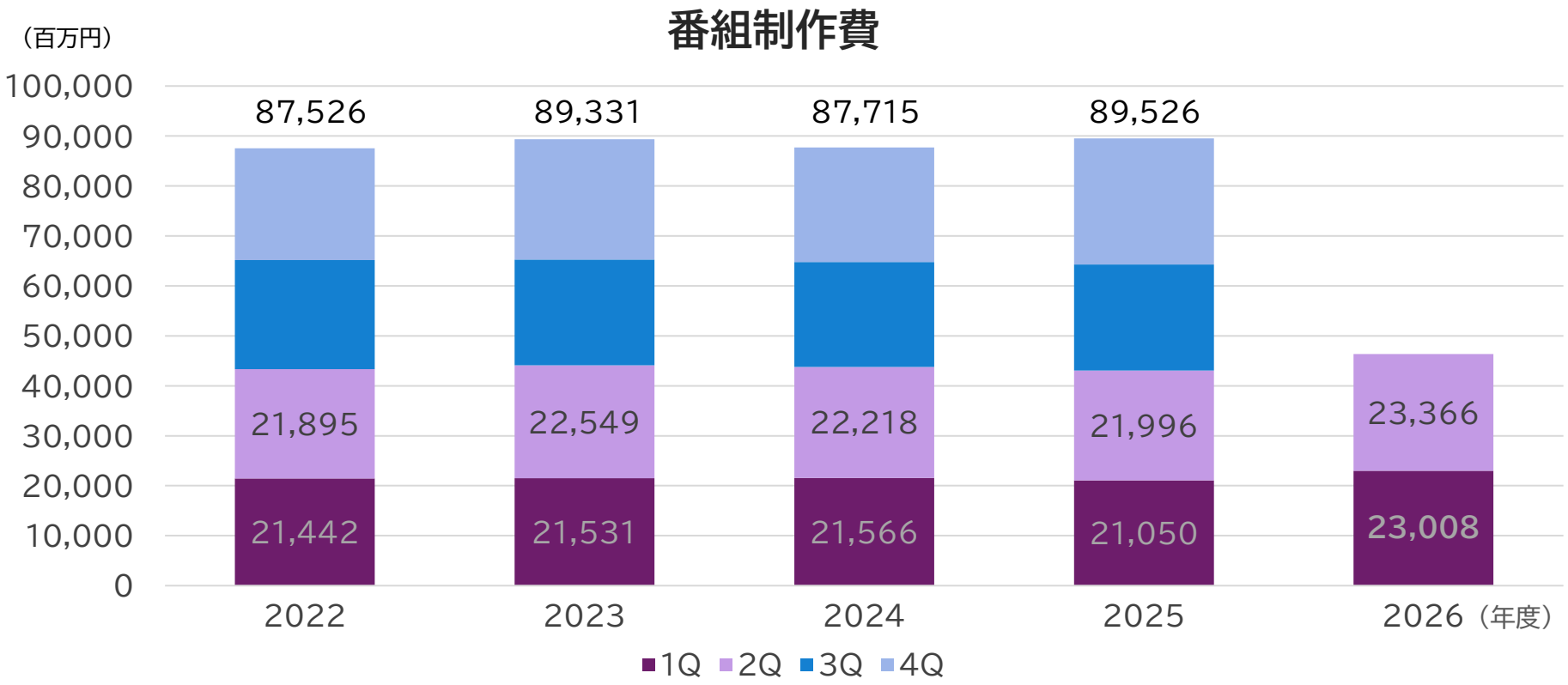
営業収入	2025年度4-9月	2026年度4-9月	前年差	増減率
広告収入	117,403	108,547	△8,855	△7.5%
番組販売収入	5,430	5,204	△226	△4.2%
事業収入	29,133	29,546	412	1.4%
不動産賃貸収入	1,584	1,289	△294	△18.6%
合計	153,552	144,588	△8,964	△5.8%

営業費用	2025年度4-9月	2026年度4-9月	前年差	増減率
番組制作費	43,046	46,374	3,328	7.7%
人件費	10,797	11,100	302	2.8%
減価償却費	3,901	4,176	274	7.0%
事業費	26,531	26,327	△203	△0.8%
その他	47,619	47,876	257	0.5%
合計	131,894	135,853	3,958	3.0%

日本テレビ放送網：番組制作費

（単位：百万円）

2025年度4-9月	2026年度4-9月	前年差	増減率
43,046	46,374	3,328	7.7%



日本テレビ放送網：主な事業収支

（単位：百万円）

	収入		収支		特筆点	参照ページ
	2026年度 4-9月	増減率	2026年度 4-9月	増減率		
アニメ	3,751	11.9%	1,103	△27.5%	放送枠増加に伴いコンテンツ数も増えたが、昨年の好調だった過去作品の海外セールスの反動減があった	P23-24
映画	2,624	27.1%	1,488	24.2%	「コナン」「キングダム」「白鳥とコウモリ」がいずれも好調	P22
ミュージック&アーティストセンター	3,236	62.0%	1,084	291.5%	大型イベント「FOOTBALL DREAM MATCH」「DayDay. SUPER LIVE」に加えHANAの好調	P28-29
イベント	4,078	△20.3%	246	△69.9%	「ルーヴル展」「ガウディ展」は好調も、昨年比でイベント数が減少したことが影響	P31-32
リテールビジネス	4,370	△1.4%	304	△3.4%	ワールドカップ放送に伴い通販番組のOA数が減少した	
海外ビジネス・配信ビジネス（除アニメ）	1,649	1. 4%	1,175	△ 10.9%	グローバルプラットフォームへライセンスが増加	【海外】P25-27 【配信】P37-41
コンテンツビジネス等	1,234	△21.9%	334	2.5%	制作受託が減少しフォーマット販売中心だった	

＊旧「IPビジネス」は、社内の組織名称に合わせ「ミュージック＆アーティストセンター」に変更
＊旧「海外番販（除アニメ）」は「海外ビジネス・配信ビジネス」に変更。なお、昨年売上の一部は「コンテンツビジネス等」に振替
配信サイトへのドラマの売上は「コンテンツビジネス等」に計上

主なグループ会社の状況

2026年度 4-9月　　＊連結決算への影響がある会社を中心とした、日本テレビ放送網以外のグループ会社

（単位：百万円）

	BS日テレ		CS日本		日本テレビ音楽		バップ		ティップネス		ムラヤマ	
売上高	9,077	1.1%	4,313	△5.4%	4,797	△4.3%	3,160	△9.5%	13,920	2.0%	8,868	△14.0%
営業利益	1,179	6.8%	△197	―	1,097	△10.2%	517	△21.4%	115	―	416	131.9%

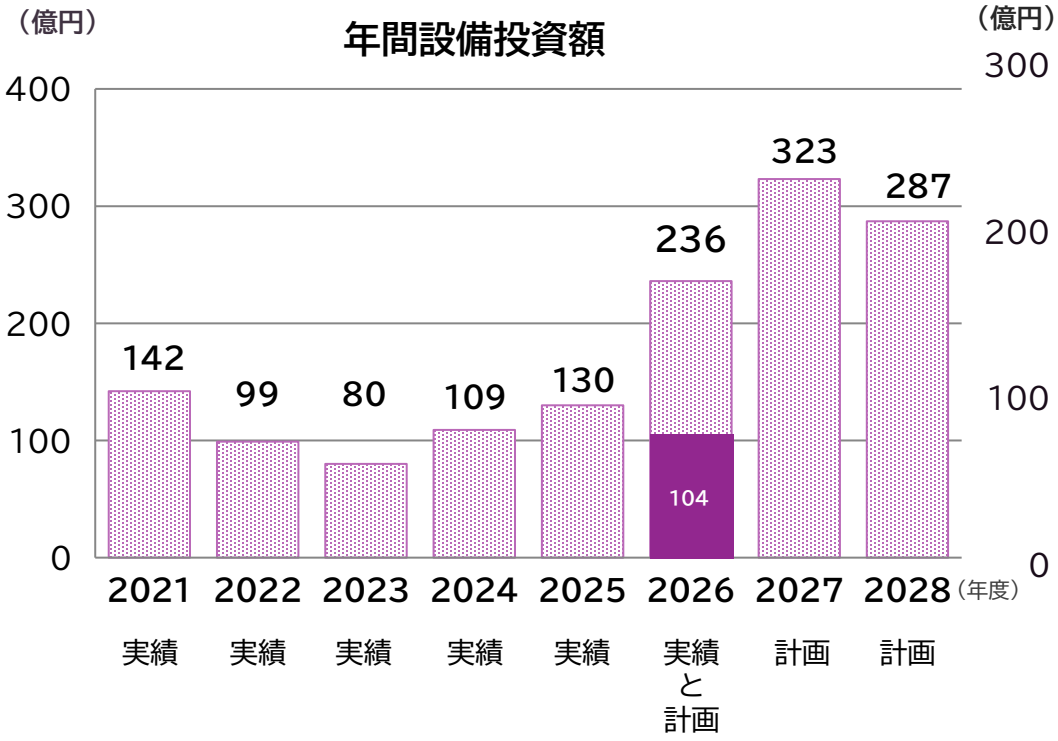
	日本テレビ サービス		タツノコプロ		HJ ホールディングス		ACM		PLAY	
売上高	5,019	42.5%	803	△20.6%	15,531	△2.3%	2,734	△1.7%	5,648	16.0%
営業利益	454	106.2%	122	―	279	△87.3%	568	△14.8%	640	△30.5%

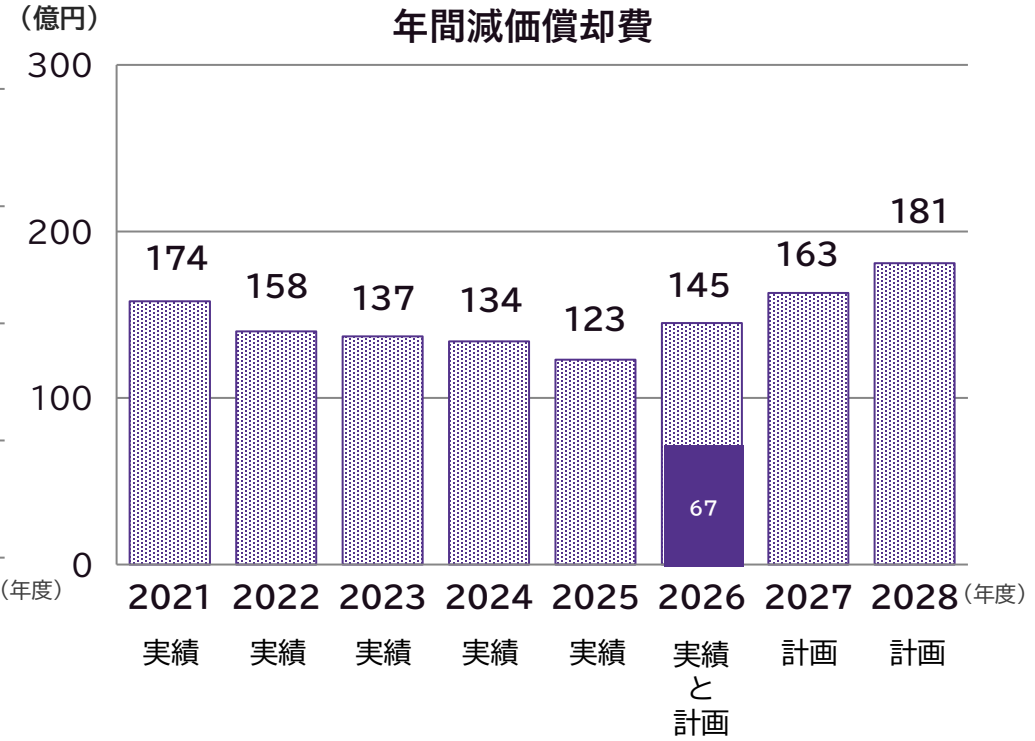
※前期もしくは当期損失計上の場合、増減率は（－）表記

設備投資と減価償却

（単位：億円）

	設備投資額	減価償却費
2026年度 4-9月	104	67





連結業績及び配当予想

業績予想　（今回修正はありません）

（単位:百万円）

	2025年度 実績	2026年度 予想	増減率
売上高	484,418	535,000	10.4%
営業利益	69,332	49,000	△29.3%
経常利益	82,081	59,000	△28.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	56,767	51,500	△9.3%

配当予想

（単位:円）

	第2四半期末	期末	合計
2026年度	10	35	45

日本テレビ地上波広告収入見込み （今回見直しています）

（対前年増減率）

前提	2026年5月発表	今回発表
タイム	0.3%	0.3%
スポット	△6.0%	△10.3%

Contents

成長投資の加速と株主還元の充実

決算概況

コンテンツ戦略

編成戦略・デジタル・配信

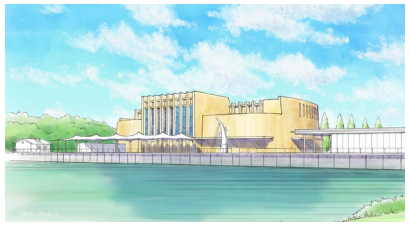
戦略的投資

補足資料

スタジオジブリ①

■ ジブリパーク第3期構想の推進を愛知県が発表

8月7日(金)に、愛知県はジブリパークの第 3 期構想の推進を発表しました
西口広場に「風の谷のナウシカ」の世界を表現した新エリアの設置を構想しています



© Studio Ghibli

■ 「ジブリパーク展」大阪展 会場記録樹立

大阪南港ATCギャラリーにて開催していた「ジブリパーク展」が9月26日(土)に閉幕しました
多くのお客様にお越しいただき、8月と9月は夜間営業も実施
これまでにATCギャラリーで開催されたイベントの来場者数の新記録を樹立しました
次回開催は、2027年2月11日(祝)より神奈川県横須賀美術館となります



■ 「禅とジブリ」京都展が開催中

10月3日(土)より、京都市京セラ美術館 新館 東山キューブにて
スタジオジブリ作品から禅に触れる展覧会「禅とジブリ」京都展が開催中です
本展は、書籍「禅とジブリ」を原点とし、「君たちはどう生きるか」を中心に空間を構成
“禅的なまなざし”に触れるこれまでにない体感型の展覧会です



Title Written by Toshio Suzuki
©Kanyada

スタジオジブリ②



© FPA｜Iván Martínez

■ スタジオジブリが2026年アストゥリアス王女賞を受賞

スタジオジブリが、科学、技術、文化、社会、人道的価値の推進をたたえるスペインの権威ある
2026年アストゥリアス王女賞のコミュニケーションおよびヒューマニズム部門を受賞し、10月23日（金）に授賞式が行われました
手描きアニメーションの表現を通じて、普遍的な人道的価値を描き、世代や国境を超えて広く親しまれてきたことなどが高く評価されました

■ 「耳をすませば」・「借りぐらしのアリエッティ」4Kデジタルリマスター版IMAX上映

「耳をすませば」「借りぐらしのアリエッティ」の2作品が、
スタジオジブリ監修による4Kデジタルリマスター版として映画館に帰ってきます
10月23日（金）～11月2日（月）までの期間限定で、全国のIMAX劇場にて上映されたほか、
11月12日（木）まで全国47都道府県での拡大上映とDolby Cinema上映を実施中です
ぜひこの機会に、高精細な映像とクリアな音響で蘇った
「耳をすませば」と「借りぐらしのアリエッティ」の2作品を、劇場にてご堪能ください





© 1995 Aoi Hiiragi, Shueisha /Hayao Miyazaki /Studio Ghibli, NH
© 2010 Mary Norton /Keiko Niwa /Studio Ghibli, NDHDMTW

■ 「The Story of Studio Ghibli」シンガポールにて開催

12月18日（金）より、シンガポールのガーデンズ・バイ・ザ・ベイにて
スタジオジブリの映画の世界観を体感できる没入型展覧会が開催されます
約3,500㎡の会場に世界初登場となる高さ8mの『千と千尋の神隠し』の油屋など、12の名シーンが蘇ります



© 2024 Hayao Miyazaki - Studio Ghibli

映画事業

累計興収245億円のシリーズ最新作『キングダム　魂の決戦』は、**観客動員452万人**を突破、
興行収入は69億円（10/27時点）の超特大ヒット！！
映画『白鳥とコウモリ』は**観客動員135万人、興行収入累計19億円**（10/27時点）の大ヒット！！
10月公開のハリウッドとの共同製作映画『バッド・ルーテナント：トウキョウ』、
トロント国際映画祭での世界初上映は大盛況で迎えられた。アメリカ、イギリス、フランスを
はじめとした世界17の国と地域で公開予定！！





©原泰久/集英社
©2026映画「キングダム」製作委員会

© 2026「白鳥とコウモリ」製作委員会



© 2026 BLT TOKYO LIMITED. All Rights Reserved

©2026 劇場版「薬屋のひとりごと」製作委員会
©日向夏・イマジカインフォス





© 2026 映画「SUKIYAKI
上を向いて歩こう」製作委員会



©福本伸行・講談社／
© 2027 映画「カイジ 人生リベンジゲーム」
製作委員会

冬には超人気TVアニメシリーズが初の映画化
『劇場版 薬屋のひとりごと 亡妃の秘宝』。
世界的なヒット曲「上を向いて歩こう（英題：SUKIYAKI）」の制作の裏に秘められた六八九トリオ（作曲・中村八大、作詞・永六輔、歌手・坂本九）の人生が交錯する感動の本格音楽エンターテインメント超大作『SUKIYAKI 上を向いて歩こう』、大人気シリーズの最新作『カイジ　人生リベンジゲーム』が公開。

アニメビジネス展開 ①

【2026年10月期放送作品紹介】

『薬屋のひとりごと』(第3期)

シリーズ累計5,700万部突破の大人気タイトルの第3期。
物語の舞台は後宮から市井、さらに隣国へと広がり、猫猫と壬氏には新たなる試練が待ち受ける。



©日向夏・イマジカインフォス／「薬屋のひとりごと」製作委員会

『桃源暗鬼～日光・華厳の滝編～』(第2期)

累計部数650万部突破の大人気コミックスのアニメ化第2弾。
桃太郎を題材に鬼と桃太郎、それぞれの血を引く者たちの争いを描く。華厳の滝にある研究施設を舞台にした新章突入!!



©漆原侑来(秋田書店)／桃源暗鬼製作委員会

『らんま1/2』(第3期)

全世界累計部数が2億3000万部を超える高橋留美子先生の代表作の一つ。当時のファンだけでなく、F2層の視聴も多く、世代を超えて愛される『らんま1/2』の第3期がいよいよ放送スタート！



©高橋留美子・小学館／「らんま1/2」製作委員会

アニメビジネス展開 ②

【New York Comic Con(NYCC)2026】

年々拡大している海外アニメイベント「New York Comic Con(NYCC)2026」が10月8日-11日に、アメリカのNYで開催され、約25万人のアニメファンが来場し、熱狂しました。
そのメイン入口には「薬屋のひとりごと」の大ポスターが掲示されました(写真右上)。
7月のAnime Expoに続いて、パネルイベントと10月に放送開始した第3期の第1話試写会を開催したところ、会場キャパを大きく上回る1,000人以上が並び、入場規制するほどの人気ぶりでした(写真右下)。北米のライセンシーであるCrunchyrollのブースでも大きな展示がなされ、完全に北米での人気が定着してきています。





日本テレビ放送作品は各所で展開され、同じ10月新番組「桃源暗鬼」もPony Canyonブースで大きく特集(写真左)され、海外での認知が上がっています。
今後も様々な取組みで日テレアニメを海外で盛り上げます。



海外ビジネス展開

GYOKURO Studio

■ GYOKURO STUDIO『Majority Rules』Venice TV Award 2026 Reality TV部門に入賞



イタリア・ベネチアで開催される、Venice TV Award、Reality TV部門にて、GYOKURO STUDIO制作の「Majority Rules」は、唯一の日本作品としてNominee（ファイナリスト）に選出されました。
グローバルなテレビ業界における優れたクリエイティブとイノベーションが評価されました。
現在、「Majority Rules」のフォーマットは海外大手制作会社との交渉が進んでおり、
今回の国際アワードでの評価が、現地版制作に向けた今後の展開を後押しすることが期待されます。



GYOKURO STUDIOは新作のオリジナル開発の他に、日本テレビの既存コンテンツを海外フォーマットにカスタムする取り組みも行っています。10月に開催される国際見本市 MIPCOMではお正月の恒例特番「ウルトラマンDASH」を「Ultra Mission」とし出展し、コンテンツビジネス部と連携してセールスしていきます。

海外の大手スタジオとの共同開発やグローバルプラットフォームに向けたオリジナルコンテンツの開発にも積極的にトライしています

コンテンツグローバル展開

■ ドラマ:『Woman』ギリシャリメイク版の放送開始

2013年に日本テレビで放送され、シングルマザーの厳しい現実と親子の絆を描き大きな話題を呼んだドラマ『Woman』がギリシャでリメイクされ、2026年10月より民放大手のAlpha TVにて放送・配信が開始しました。

ギリシャ版は日テレ版のストーリーを踏襲しつつ話数を50話以上に大幅に拡大。Alpha TVは昨年、同じく坂元裕二脚本作品である『Mother』のリメイク版を放送して同時間帯視聴率トップとなるヒットを記録していて、この成功を受けて『Woman』のリメイクも制作されることとなりました。

『Woman』の海外リメイクは本作で3作目となりますが、2017年に制作されたトルコ版は3シーズンにわたって放送され60以上の国や地域で配給される大ヒット、昨年制作されたアラビア語版も中東地域で広く放送・配信されており、今回のギリシャ版もさらなるヒットが期待されています



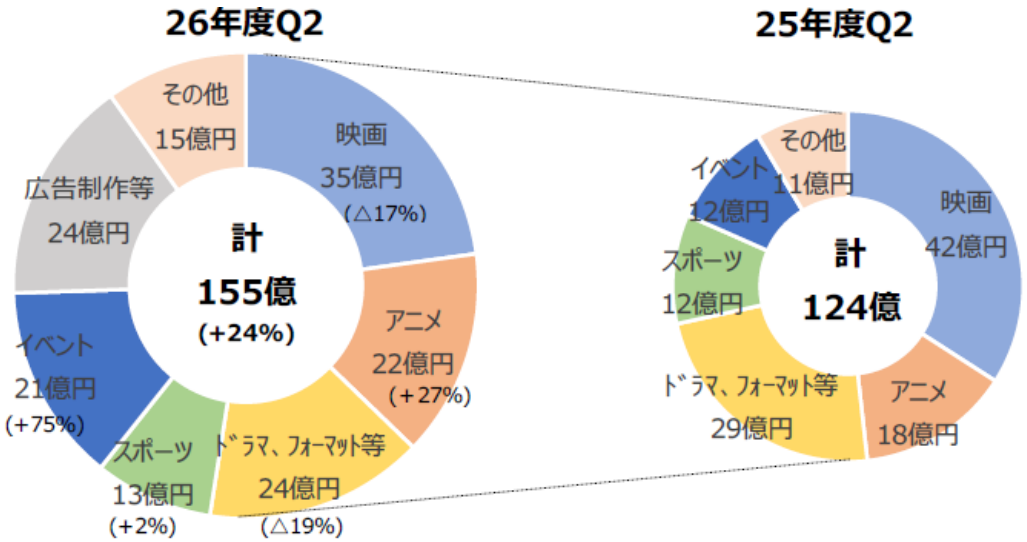
『Woman』ギリシャ版ポスター



『Woman』日本版ポスター

海外ビジネス展開

■ 海外売上状況



■ テック事業

自社開発AI「viztrick AiDi」 中国最大の放送機器展で優秀製品賞を受賞



viztrick AiDi



AiDi開発者　篠田貴之

- 日本テレビ自社開発のオンデバイスAI「viztrick AiDi」が、中国・北京の放送機器展「第33回 BIRTV」にて　優秀製品賞を受賞しました。クラウド不要のセキュアなローカルAI技術と、スポーツ中継等における制作効率の高さが評価されました。
- 「viztrick AiDi」は、2026年4月に米国ラスベガスで開催されたNAB Show 2026においても「Product of the Year」および『TV Technology』誌の「Best of Show Award」を受賞しています。
- 北米に続きアジア市場でも当社の技術力が高く評価されました。

IPビジネス／音楽事業 ①

「HANA」

新人にして日本中を席巻！
「1億回再生」国内ダンス＆ボーカルグループ史上最多記録を更新！

2025年4月のデビュー以来、HANAの快進撃が続く！Billboard Japanチャートで4億回再生を記録した『ROSE』『Blue Jeans』を筆頭に、1億回越えは国内ダンス＆ボーカルグループ史上最多の計8曲に到達！デビュー1年目から女性アーティストとして令和初の「年間売上20億円突破」も達成。
3月の愛知を皮切りに、18か所で開催されたホールツアー「Born to Bloom 1st Tour 2026」も大好評で、9月・大阪城ホール、10月・日本武道館の追加公演も行われました。
7月「THE MUSIC DAY」出演では、渡辺直美とNY・タイムズスクエアでコラボが実現。裏側はHuluでも公開され、話題になっています。HANAの爆発的な成長は、まだ序章に過ぎません





「HiGH&LOW 10th ANNIVERSARY FEVER」

「HiGH&LOW」プロジェクト始動10周年記念スペシャルライブ開催！

ドラマ、映画、音楽、コミックなど多方面で展開されてきたメディアミックス・マルチメディアコンテンツ「HiGH&LOW」。劇場公開作品のシリーズ累計観客動員数は621万人、累計興行収入は89億円を記録。9月22日・23日にKアリーナ横浜で行われたスペシャルライブに、EXILE THE SECOND、THE RAMPAGE、FANTASTICS、BALLISTIK BOYZなど7組総勢55名が集結！一夜限りのシャッフルユニットや豪華なパフォーマンスで、進化と継承を感じさせる怒涛のステージを展開しました。
2027年にはシリーズ最新作にして最終章となる映画「HiGH&LOW THE 新世界」の公開も決定しています。日本テレビ × LDH JAPANによる大型コラボレーション・プロジェクトの発展はとどまることを知りません

IPビジネス／音楽事業 ②

「TAGRIGHT」

熱狂から生まれた7人組アーティストIP「TAGRIGHT」が遂にデビュー！

社会現象となった『タイプロ』で注目された西山智樹と前田大輔の2人が、昨年、自らメンバーの選抜を行うオーディション・プロジェクトを展開。その様子は「シューイチ」で放送されました。2025年12月に、小林大悟・今井魁里・岸波志音・若松世真・ジェイを迎え、7人組ボーイズグループを結成。デビュー前にもかかわらず、日本青年館ホール単独6公演のショーケースを成功させています。今年7月15日にDebut Single『ZERO』で正式デビュー！ 9月には冠バラエティー番組、第3弾「TAGRIGHTのタグつけます。」の放送も開始。「自分のTAG（個性）を信じ、自ら選んだ道をRIGHTに変えていく」彼らの挑戦が、注目を集めています





「ROIROM」 2026年7月19日・20日 @横浜アリーナ

人気アイドルデュオROIROM、デビュー後初のアリーナ単独ライブを開催！

2025年5月に結成した、本多大夢（ひろむ）と浜川路己（ろい）による人気アイドルデュオROIROM。今年5月7日にデビュー、7月に初のアリーナ単独ライブ『ROIROM 1st Concert 2026 “MYSTIQUE”』を開催しました！2日間で約2万人を動員し、楽曲制作からステージ演出まで主導する彼らならではの唯一無二の世界観で、圧巻のパフォーマンスを繰り広げました。4月にトーク番組「ゲストはROIROM」で初冠、8月の土曜お昼には劇団ひとりとの旅番組「ロイロム鉄道」も放送。2027年2月11日には、東京体育館にて「ゲストはROIROM Special Live」開催も決定しています

イベントビジネス ①



『ルーヴル美術館展　ルネサンス』

会期：2026年9月9日 - 12月13日
会場：国立新美術館（六本木）

ルーヴル美術館が誇る膨大なコレクションの中から、「ルネサンス」をテーマにした56点の作品が来日する展覧会。最大の注目はルネサンスの巨匠「レオナルド・ダ・ヴィンチ」の肖像画の傑作「美しきフェロニエール」が初来日すること。開幕以来、連日大勢の来場者がつめかけ、**11月3日までに来場者30万人を突破した。**

イベントビジネス ②

『時をかける少女』20周年記念 細田守の原点/展

会期:2026年6月20日 - 8月31日
会場:CREATIVE MUSEUM TOKYO(京橋)

『時をかける少女』『サマーウォーズ』『おおかみこどもの雨と雪』をはじめとする代表作に加え、『時をかける少女』以前の演出家時代の作品や学生時代の作品も展示する、“細田守の原点”を辿る大規模展覧会。約25万人を動員し、大盛況となった



THE DESTINY

会期:2026年7月31日 - 8月2日
会場:東京辰巳アイスアリーナ
出演:三浦璃来&木原龍一　ほか

ミラノ・コルティナ五輪で金メダルを獲得し、世界を魅了した“りくりゅう”が初めてプロデュースしたアイスショー。ペア、アイスダンスといった“カップル競技”に限定した日本初のショーで、2人とミラノ・コルティナ五輪を戦い抜いた世界のトップスケーターたちが集結。夢の豪華共演が実現しただけでなく、カップル競技の未来を担う次世代スケーターも参加し、圧巻の演技を見せた



Contents

成長投資の加速と株主還元の充実

決算概況

コンテンツ戦略

編成戦略・デジタル・配信

戦略的投資

補足資料

2026年7月クール　視聴率状況

2026/6/29～2026/9/27

	コア視聴率	個人視聴率
全日（6～24時）	2.1	3.3
プライム（19～23時）	3.5	4.6
ゴールデン（19～22時）	3.7	4.9
モーニング（7～10時）	2.5	3.6
プラチナ（23～25時）	1.5	2.2

1位
2位

「コア視聴率」について
購買意欲が旺盛な13歳から49歳までの男女を「コアターゲット」と呼び、「個人全体」だけでなく、この層の視聴率を重視しています。コア視聴率については14年連続で全日・プライム・ゴールデンでの三冠を獲得することができました。個人もコアも上げていき、2026年は個人視聴率での三冠も目指しています

2026年10月クール 改編トピックス

土曜21時ドラマ「俺たちの箱根駅伝」出演：大泉洋、伊藤沙莉、山下智久 ほか
初回視聴率：個人5.0% コア2.6%　土曜21時ドラマ枠復活後、個人最高視聴率。
配信再生数：319万回（配信開始後8日間）日テレドラマ初回として歴代最高値。



水曜22時ドラマ「メリーベリーラブ」出演：チ・チャンウク、今田美桜 ほか
韓国CJ ENMとの共同で制作し、Disney+で全世界配信。
TV Shows部門でグローバルランキング最高2位（集計FlixPatrol）
日本・韓国・香港・ブラジルで首位獲得、世界72の国と地域でTOP10入り。



水曜19時 新番組「THE FLOOR」MC：岡田准一
世界30か国以上でヒットする人気フォーマットを水曜19時にレギュラー編成。
勝てば陣地を獲得、負ければ即退場。
巨大LEDフロアを舞台にクイズで戦う究極の「陣取りサバイバルゲーム」
テレビの前で参加しながら楽しめることも魅力です。



2026年度 今後の注目コンテンツ

「国宝」2027年新春、地上波初放送

監督：李相日　脚本：奥寺佐渡子　主演：吉沢亮

興行収入200億円突破、邦画実写映画の歴代興行収入1位を記録し、
日本アカデミー賞では最優秀作品賞、最優秀主演男優賞を含む
最多10部門の最優秀賞を獲得した映画「国宝」を地上波初放送します。
歌舞伎界の光と闇を描いた珠玉の人間ドラマが新春に蘇ります。



「アメリカ横断ウルトラクイズ」新春2夜連続放送！

総合MC：櫻井翔　MCアシスタント：住岡佑樹

「ニューヨークへ、行きたいかーーー！？」
番組誕生50年を記念して、伝説の番組「アメリカ横断ウルトラクイズ」が復活！
2027年1月1日(金)、2日(土)のお正月2夜連続放送に決定しました。
ヨーロッパ、アフリカ、アメリカと3大陸を横断する地球一周規模に
スケールアップした史上最大のクイズサバイバルをお楽しみください。



2026年度 今後の注目コンテンツ

充実のスポーツ中継ラインナップ

2026年下期も話題のスポーツ中継を編成。
それぞれの競技と日本代表の価値を最大化し、スポーツコンテンツのファンを増やします。

【10月】　世界体操2026 オランダ・ロッテルダム大会
ラグビー リポビタンDチャレンジカップ 日本×フィジー

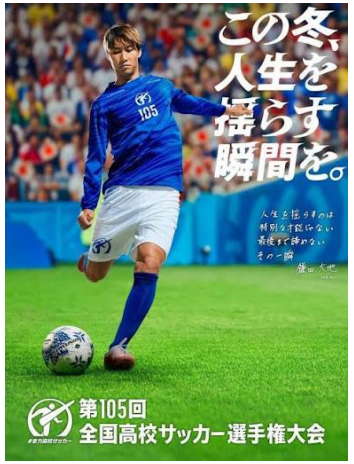
【11月】　サッカー日本代表戦　日本×パラグアイ
FIBAバスケワールドカップ2027アジア予選　カタール×日本

【12月-1月】第105回全国高校サッカー選手権

【1月】　第103回箱根駅伝

【3月】　東京マラソン2027





配信事業：HJホールディングスの新たな展開

HBO Maxと新規パートナーシップ発表！DAZNとはセットプラン販売開始

■「HBO Max on Hulu」サービス　10月1日開始

・日本テレビと共に、ワーナー・ブラザース・ディスカバリーと
グローバルパートナーシップを提携。良質な海外コンテンツを拡充。
・Hulu月額会員は「追加料金なし」でHBO Maxの人気作品が
視聴可能に。
・待望のHBOオリジナル新シリーズ「ハリー・ポッター」の第1シーズン
となる「ハリー・ポッターと賢者の石」は、12月下旬から配信される予定。
・日本テレビおよびHuluコンテンツの海外配信の可能性を検討へ

■「DAZN」とのセットプラン販売開始

・「Hulu｜DAZN セットプラン」を2026年10月より提供開始。
・スポーツのライブ観戦と多彩なエンターテインメント作品を
一つのパッケージで提供。
・月額4,680円(税込)で、個別契約と比較し月額840円(15%以上)の割引。



配信事業：HJホールディングスの新たな展開

（単位：百万円）	売上高	営業利益
2026年度第２四半期	15,531	279

日テレドラマ・HJオリジナルドラマ好調！バラエティ・スポーツも！

■ ドラマ「告白－25年目の秘密－」スピンオフ、「八神瑛子」好調！

・日テレドラマ「告白－25年目の秘密－」がHuluオリジナルスピンオフ効果もあり大ヒット！
・「一次元の挿し木」「ファーストクライ」GP帯放送3ドラマ全てでHuluオリジナル展開を実施し好調！
・Huluオリジナル独占配信のドラマシリーズ「八神瑛子」も順調に推移。
・大人気「館シリーズ」の第3弾も製作決定！



Huluオリジナル企画
告白
-25年目の秘密-



日テレ





■ バラエティ番組の配信も好調に推移！

毎年夏休み恒例の「ダウンタウンのガキの使いやあらへんで！ 笑ってはいけない」シリーズも昨年比増の好影響。

■ 日本人選手の活躍により「MotoGP」前年から大きく躍進！

・小椋藍選手の日本人初優勝もあり、「MotoGP」が昨年を大きく上回る新規会員を獲得。

配信事業：HJホールディングス

■「有吉の壁」オリジナル制作＆配信決定



・地上波ゴールデンで6年半、
お笑いの歴史を作ってきた「有吉の壁」
2026年9月に盛大に最終回を迎えた壁が、
大人気企画の有吉弘行監督「アドリブシリーズ」として、
「アドリブヤンキードラマ」を制作＆配信します！

・さらに番組初期の貴重な特番13本も独占配信。
直近1年の放送回＆未公開映像も配信中！

これまでのファンも、
これまで見てこなかったネット世代もさらに取り込み、
12月年末放送予定の地上波特番と合わせて、お笑いをさらに盛り上げていきます！

配信事業:TVer(AVOD)

TVer 状況

- UB数　:7月 2,991万　8月 3,266万　9月 3,102万
  再生数:7月 5.7億　　8月 6.4億　　9月 5.6億
- 8月CUの再生数5.91億再生は歴代最高値

日本テレビの取組

■ バラエティジャンル　民放1位！！累計1億7,308万再生突破！
「上田と女が吠える夜」「上田と女がDEEPに吠える夜」
「月曜から夜ふかし」「世界の果てまでイッテQ！」等の人気バラエティが引き続き好調
「上田と女が吠える夜」累計1,640万再生、「月曜から夜ふかし」累計1,712万再生を超え





■ ドラマジャンル
・「告白-25年目の秘密-」　累計再生数 3,302万

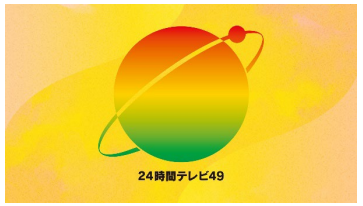




■アニメジャンル　9月月間　民放1位！！再生数665万再生
・「薬屋のひとりごと」 7月-9月　累計　1位 908万再生

■ 大型特番＆スポーツライブ
・「THE MUSIC DAY」累計766万再生(前年比113%)
・「24時間テレビ」初の24時間ライブ配信！ 累計再生787万(前年比136.6%)
・「ダブルインパクト」関連番組含む累計332万再生(前年比217%)
・「キリンチャレンジカップ　日本×ベネズエラ」サッカージャンル 歴代2位！　156万再生







※TVer DATA MARKETINGにて算出

配信事業：TVer（AVOD）

TVer

2026年10月以降～注目コンテンツ





■10月-1月　箱根駅伝　チャンネルページ開設
ドラマ「俺たちの箱根駅伝」
「第103回箱根駅伝 予選会」「第103回箱根駅伝 本選」
など総合的にTVer上で展開





■10月-11月 プロ野球 TVer ライブ
「2026 JERA クライマックスシリーズ セ ファーストステージ」
「SMBC日本シリーズ2026」

■10月-1月　第105回全国高校サッカー選手権大会
地区大会決勝及び全国大会　初の全試合コネクテッドTV対応



■その他　大型案件
（音　楽　）11月　ベストアーティスト2026
（スポーツ）10月　世界体操2026
　　11月　バスケットボール男子 W杯最終予選 カタール×日本
　　11月　サッカー男子　日本 × パラグアイ

Contents

成長投資の加速と株主還元の充実

決算概況

コンテンツ戦略

編成戦略・デジタル・配信

戦略的投資

補足資料

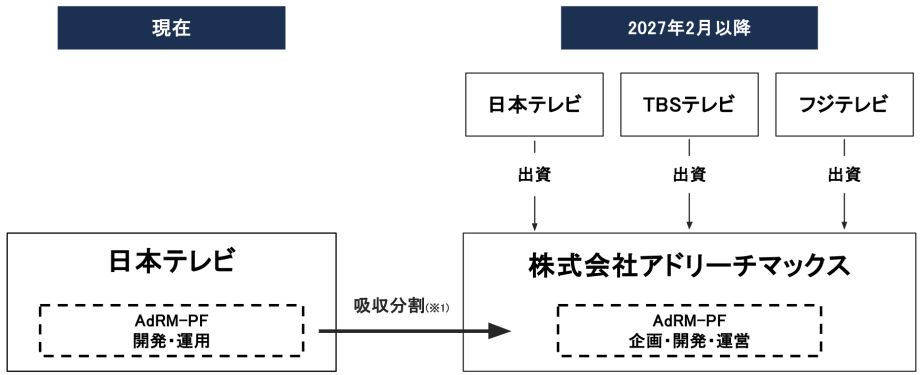
主な戦略的投資の推移

	中期経営計画 2016-2018	中期経営計画 2019-2021	中期経営計画 2022-2024	中期経営計画 2025-2027
コンテンツ・グローバル領域	PLAY AllAbout All About Navi Weekday	Murayama Beaglee easyprod	スタジオジブリ labellevie ACHIEVEMENT JCG GOKKO CLUB ALPHA CODE	KANAMEL
ウェルネス領域 新規事業領域 ほか		JSS	R-bies SAPEET THE FARM AGRIZM PARK CHIBA KATORI	FRONTIER INNOVATIONS アイカサ
その他含めた総投資額	220億円	290億円	366億円	540億円

Ad Reach MAX

「株式会社アドリーチマックス」を26年10月に設立し、27年2月に事業を日本テレビから移管します。
新会社へ日本テレビ・TBSテレビ・フジテレビの3社が出資し、テレビ業界に開かれたプラットフォームへと成長させていきます。

新会社「株式会社アドリーチマックス」設立



※1：本吸収分割の実施につきましては、2026 年 11 月開催予定の日本テレビ放送網株式会社取締役会における承認決議を前提としています。

会社名	株式会社アドリーチマックス
代表者	代表取締役社長　松本　学（現日テレ営業局担当部長）
資本金	1億円
設立時期	2026年10月予定
事業開始時期	2027年2月予定
事業内容	Ad Reach MAXプラットフォームの企画・開発・運営など

新会社の設立目的（事業を切り出す背景）

- ①中立性
- ②スピード
- ③多様な知見

→ 放送局の参画しやすさ

→ ワンプラットフォームによる広告会社の運用工数削減

新会社の主なミッション

地上波広告・動画広告市場に新たな武器（AdRM）を開発・提供し、
企業のマーケティング活用を支援する会社



- ①TV×デジタル統合
- ②アカウンタビリティ向上
- ③柔軟なプラン・バイイング
- ④データの利活用
- ⑤市場の拡大

KANAMEL概要

（単位：百万円）	売上高	営業利益
2026年度4～6月期	19,843	570

*日本テレビHD連結への取り込みは第2四半期からとなります。12月決算会社のため、KANAMELの4－6月を第2四半期分として今回から取り込みます

■ グローバル市場を見据えたコンテンツ製作強化
- 日本テレビホールディングスは、KANAMELの株式を投資総額483億円で取得し、完全子会社化しました
- 「グローバルコンテンツ企業への変革」に向けた、IP創出と制作体制強化を図る戦略的投資として実行しました

KANAMEL

AOI Pro. tyo TREE Digital Studio FIELD MANAGEMENT EXPAND FIELD MANAGEMENT STRATEGY

■ KANAMEL株式会社　概要
- KANAMELは AOI Pro.、TYO、TREE、FMX、FMSを中核とする 国内外26社からなるホールディングス会社
- 売上高783億（2025年12月期）、従業員数1,956名（2025年12月末）
- 広告映像制作市場で国内トップシェア実績を誇る
- 映画・ドラマ等の映像作品においても国内外で数々の賞を受賞。

KANAMEL

■大型ドラマ「俺たちの箱根駅伝」でTree Digital StudioがVFX制作

10月10日(土)から放送・配信を開始した大型GP帯ドラマ「俺たちの箱根駅伝」において、
映画「8番出口」や映画「爆弾」のVFXを手掛けてきたTREEが、正月風物詩の箱根駅伝を
描くVFXクリエイターとして参画しています



■新音楽コンテンツ「D.U.N.K. in the City」をTYOが制作

Music&Artistセンターが毎年春に手掛ける大型音楽ライブ「D.U.N.K.」から、
街を舞台にした新音楽番組が誕生し、11月7日(土)から放送・配信開始します
「The First Take」や大手クライアントCMを手掛けてきたTYOのクリエイターと、
Music&Artistセンターが共に新たな音楽コンテンツを創り出します



■新春特番「アメリカ横断ウルトラクイズ」でFMXがマーケティング展開

2027年正月に復活する伝説のクイズ番組「アメリカ横断ウルトラクイズ」において、
ブランド戦略を手掛ける広告会社FMXがマーケティングコミュニケーションを展開します
約30年ぶりの復活を盛り上げる体験型プロモーションをお届けします



Contents

成長投資の加速と株主還元の充実

決算概況

コンテンツ戦略

編成戦略・デジタル・配信

戦略的投資

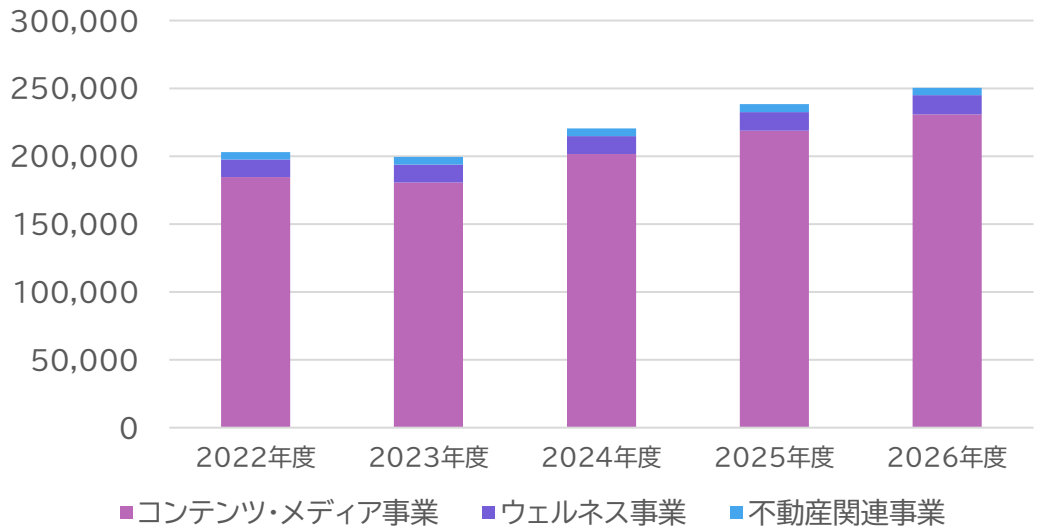
補足資料

セグメント別実績

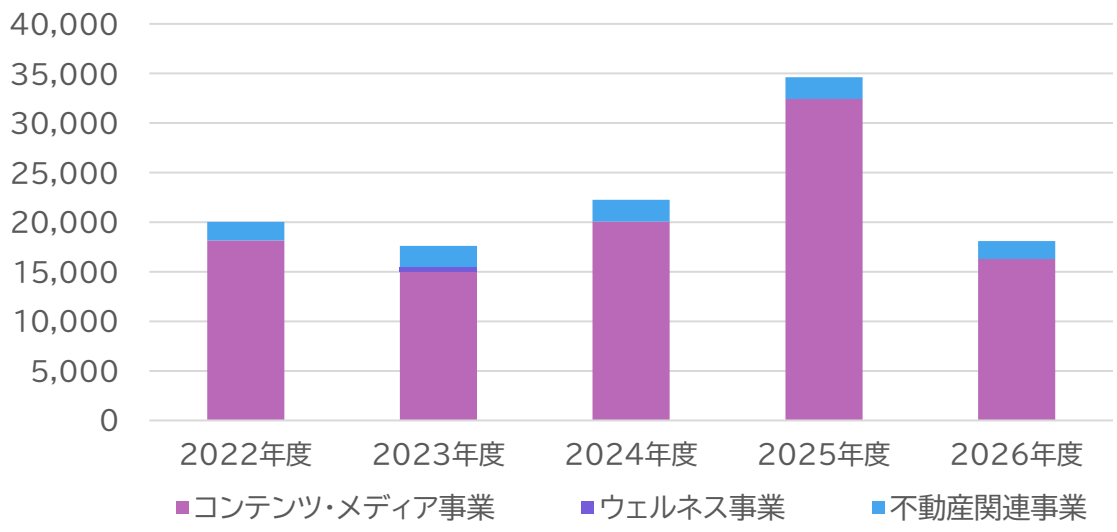
（単位：百万円）

	売上高			営業利益		
	2025年度 4-9月	2026年度 4-9月	増減	2025年度 4-9月	2026年度 4-9月	増減
コンテンツ・メディア事業	218,916	230,859	11,942	32,437	16,275	△16,162
ウェルネス事業	13,657	14,050	393	△415	△52	363
不動産関連事業	5,743	5,610	△132	2,196	1,821	△375

中間期（4－9月） セグメント別 売上高



中間期（4－9月） セグメント別 営業利益



日本テレビ放送網スポットセールス出稿業種別比較

スポットセールス出稿業種別比較

	2025年度 4-9月	シェア	増減率
1	サービス	18.4%	27.6%
2	化粧品・トイレタリー	12.2%	22.0%
3	通信・ゲーム	8.3%	10.6%
4	金融・保険業	6.3%	31.9%
5	アルコール飲料	5.4%	15.8%
6	薬品	4.8%	33.1%
7	住宅・建材	4.6%	18.8%
8	映画・演劇興行	4.4%	9.8%
9	電気機器	4.2%	2.3%
10	流通・小売業	3.9%	39.7%

	2026年度 4-9月	シェア	増減率
1	サービス	17.6%	△ 22.1%
2	化粧品・トイレタリー	11.1%	△ 25.2%
3	通信・ゲーム	9.3%	△ 8.2%
4	金融・保険業	6.5%	△ 16.2%
5	映画・演劇興行	5.5%	3.5%
6	輸送機器	4.6%	△ 2.2%
7	流通・小売業	4.5%	△ 4.3%
8	食品＜乳製品調味料＞	4.3%	△ 8.1%
9	薬品	4.2%	△ 28.4%
10	住宅・建材	3.8%	△ 32.3%

2026年度 映画事業の主なラインナップ ①

★＝日テレ幹事作品
●＝共同幹事作品
■＝出資作品

公開	作品名	配給	備考	
12/11（金）	■劇場版 薬屋のひとりごと 亡妃の秘宝	東宝	大人気TVアニメシリーズの劇場版。原作・日向夏先生の完全新作オリジナルストーリー。 水上都市を舞台に、猫猫、壬氏、そして劇場版新キャラクター達が活躍するシリーズ史上最大のミステリーを圧倒的世界観でお届けします。 原作：日向夏（ヒーロー文庫／イマジカインフォス刊） キャラクター原案：しのとうこ 監督：長沼範裕 出演：悠木碧（猫猫）、大塚剛央（壬氏）他 アニメーション制作：TOHO animation ©2026 劇場版「薬屋のひとりごと」製作委員会　©日向夏・イマジカインフォス	
12/25（金）	★SUKIYAKI 上を向いて歩こう	東宝	世界的な大ヒット曲「上を向いて歩こう（英題：SUKIYAKI）」の誕生秘話。戦後、高度経済成長期。新しい何かを生み出そうと苦悩する作曲・中村八大、作詞・永六輔、歌手・坂本九（689トリオ）の人生が交錯する本格音楽エンターテインメント超大作！クオリティの高い演奏シーンを劇場で堪能できます。 監督：瀬々敬久 脚本：港岳彦　音楽監督／音楽：岩崎太整　音楽：林正樹 出演：岡田准一　松坂桃李　仲野太賀 清野菜名　上白石萌音　吉岡里帆　大森元貴　前野朋哉　こがけん ／仲里依紗　幾田りら　戸塚純貴　八木莉可子／土屋太鳳　阿部寛　薬師丸ひろ子　ほか © 2026 映画「SUKIYAKI 上を向いて歩こう」製作委員会	
1/29（金）	★カイジ　人生リベンジゲーム	東宝	日本テレビを代表する大ヒット映画『カイジ』シリーズの第四弾が7年ぶりに帰ってくる。デスゲーム映画の”元祖にして頂点“の本シリーズ最新作では、史上最大級ともいえる新たな闘いが繰り広げられる。 原作：福本伸行『カイジ』（講談社「ヤンマガ」所載） 監督：佐藤東弥 脚本：　山口雅俊 脚本協力：福本伸行 出演：藤原竜也 高杉真宙 南沙良 寺島進／亀梨和也 ©福本伸行・講談社／©2027 映画「カイジ 人生リベンジゲーム」製作委員会	

2026年度 映画事業の主なラインナップ ②

★＝日テレ幹事作品
●＝共同幹事作品
■＝出資作品

公開	作品名	配給	備考	
2/19（金）	●ガチャ　廻世界	クロックワークス	「親ガチャ」―現代社会に蔓延する不遇感や劣等感。突如現れた謎のカプセルトイによって、“理想の人生に転生できる――”。そんな欲望をきっかけに、恐怖の物語が動き出します。 廻すだけで生まれ変われる“転生ガチャ”を題材にした新たなホラー映画をフレッシュなキャストでお届けします。 脚本・監督：曽根隼人 企画：藤井道人 出演：与田祐希 吉川愛 菊地姫奈 岩瀬洋志 ©2026 映画「ガチャ-廻世界-」製作委員会	
3/5（金）	●不可抗力のI LOVE YOU	松竹	“結ばれてゴール”という王道ラブストーリーではなく、付き合ってからのときめきやキュン、そして嫉妬やすれ違いまで、カップルのリアルをのぞき見できる！“恋リア”世代のイマドキティーンから絶大な支持を受ける人気少女漫画を実写化。“愛され人たらし”から“愛重め彼氏”に豹変する綿谷先輩と平穏主義のヒロイン・星凪の「秘密の交際」の行方にご注目ください。 原作：ほしの瑞希『不可抗力のI LOVE YOU』(集英社「マーガレット」連載) 監督：安川有果 脚本：大北はるか 出演：野村康太　上坂樹里 ©2027「不可抗力のI LOVE YOU」製作委員会　©ほしの瑞希／集英社	

（参考）中期経営計画におけるキャッシュアロケーション

資本政策・株主還元方針

資本効率の向上と適切な株主還元

2025年度から2027年度の間に生み出すキャッシュフローで成長投資を賄い、収益基盤の拡大を目指します。
政策保有株を縮減し、総還元性向35%以上を新たな目標に株主還元を推進します。
果敢な投資を通じて成長戦略を推進し、企業価値の向上に邁進していきます。



政策保有株の売却
純資産残高の20%未満とすることを目指して売却を進める。

成長投資
「1,000億円の投資枠設定による成長支援の加速」に沿った投資を実行する。

設備投資・人的資本投資等
現有設備の更新を中心とした設備投資を実行するとともに、既存アセットの有効活用として、番町の再開発などを推進する。
2028年以降、成長戦略の起点となるアセット投資は、合計で1,000億円規模を想定する。
日本テレビグループの人材は重要な資産と認識し、人的資本にかかわる投資も推進する。

株主還元等
継続的で安定的な株主還元を基本方針としつつ、総還元性向35%以上を目指していく。
株価動向等を勘案しながら、自己株式の取得も意識する。
またROEの向上につとめ、バランスシートマネジメントを強化する。

※手許現金の考え方
いかなる有事でも放送を維持するための緊急時資金2,000億円規模を手許資金として継続保有する。

2025年5月発表 中期経営計画2025-2027より

本資料に記載されている当社グループの将来の業績に関する見通しほか全ての内容は、本資料作成時点の当社の判断に基づくものです。将来についてはリスクや不確実性を含むもので、計画の数値や施策の実現を確約したものではありません。今後の経済情勢、市場動向、経営環境、日本政府の政策などの変化により、記載事項と大きく異なる可能性があることにご留意下さい。
また、本資料の無断転載はお断りします。

弊社ホームページにて最新情報を公開しております。ぜひご覧下さい。
https://www.ntvhd.co.jp/news/